

「まいにち笑顔 みんなが笑顔」



「思いやりをもち行動する子」

84日あった長い2学期も今日で終わります。2学期の始業式では、80年前に日本が戦争をしていた時の話を通して、「今を戦前にさせない」ために、平和のために、一人一人ができることとして、「自分と同じように周りの人を大切にすること」との話をしました。

2学期は学校行事もたくさんありました。8月の七小まつり、10月の七小体育の日、11月の七小芸術祭など、学年で協力しなければならないことや、たてわり班での異学年交流など、多くの友達と関わりがあったと思います。関わりが増えれば、時には考えや思いが食い違うこともあるので、トラブルになったこともあったと思います。でも、学校はある意味、トラブルもありながら人と人の関係を学んでいく場でもあります。電車や飛行機が前に進むときには必ず空気の抵抗を受けます。それと同じようにトラブルもあるからこそ、人は学び、成長していけるのです。

皆さんは、この2学期はどのような関りがありましたか。この後、担任の先生から「あゆみ」が渡されますが、そこにはこのようなことが書かれていました。

「休み時間にはいろいろな友達に『一緒に遊ぼうよ』と元気に声をかけ、誰とでも分け隔てなく遊んでいました。(1年生)」

「自分だけでなく、周りの人とよりよく過ごすことができるように考えて行動することができた2学期でした。(4年生)」

「七小まつりでは、下級生の顔と名前をしっかりと覚えて、迷子にならないように声をかけながら回っていました。(6年生)」

また、保護者の方からいただいたアンケートにも、こうありました。

「高学年が本当によく低学年の面倒を見てくれていて、温かい七小体育の日でした」

「たてわり班で学年を越えて交流できているのはとても良いと思います。最近、1年生の時に関わりのあった、当時6年生のお姉さんと再会し、微笑ましい思い出がきているなと感じました。」

どれも、周りの友達や下級生に対して思いやりの気持ちを持ち、具体的に行動している姿が、「あゆみ」やアンケートにたくさん書かれていました。

明日から約2週間の冬休みになりますが、休み中、家族はもちろん、親戚や地域の方との関りもあると思います。みんなと気持ちよく新年を迎えるために、あいさつやお手伝いなど、自分ができることは何かを考えて、七小の子らしく行動に起こせることを期待しています。